

新淀川の雄大な河口風景が楽しめる

① 矢倉緑地公園

西淀川区西島2-1
(阪神なんば線・福駅下車、西へ徒歩約40分)



淀川と神崎川の河口にはさまれた場所にある矢倉緑地。最寄りの駅からは徒歩か自転車でしか行けない場所だが、高速道路越しに大阪湾に沈む夕陽を堪能できる絶好の夕陽スポットで、行く価値はある。もともと田畑だった場所を埋め立ててできた公園で、コンクリート護岸ではなく自然石を使った海岸に整備されている。2.4haもある広い園内にはいくつか潮だまりがあり、カニや魚などの海の生き物や野鳥も見ることができる。



Facebookもチェック

市民共済のよんどご担当者が、マップ片手に歩いてみました。詳細はフェイスブックにて!

「大阪名所 じっくりMAP」

〈第15回〉消えた川の跡をたどり、今の川の絶景を楽しむ
～かつての中津川・中島大水道・大野川と新淀川～

～淀川区～西淀川区～



淀川区～西淀川区
案内人/杉本容子



お好み焼ともひと味違う「ねぎ焼」

⑨ ねぎ焼やまもと

淀川区十三本町1-8-4 ☎06-6308-4625
11:30～22:00(LO) 第2・4水曜休

阪急十三駅から徒歩約3分、昭和40年頃から店を構える。創業間もない頃は、店主の山本高恵さんが一人で切り盛りしていた。店を手伝う子どもたちの胸いから生まれたのが、看板商品のねぎたつぷりのお好み焼「ねぎ焼」だ。今では「大阪の味」として親しまれ、新大阪や福島などにも支店があり、特に本店のこちらは行列必須の人気店。甘辛く煮込んだ牛すじ肉とコンニャクが入ったすじねぎ1,190円(写真)。

団子の焦げ目のリクエストもOK!

⑩ 喜八洲総本舗

淀川区十三本町1-4-2 ☎06-6301-0001
8:00～23:00 無休



毎年、ツバメの巣作りする姿が見られることから「ツバメ通り」の通称で親しまれている商店街。昭和の佇まいと空気が残っている

住宅設備屋さんの夏限定のかき氷

⑪ 野口商店

淀川区十三東4-4-1 ☎06-6301-0749
5月～10月の11:00～19:00 日祝休
(7,8月は13:00～18:00営業、無休、但し雨天時休)



キッチン・ガス給湯器と書かれた大きな看板の横にある「氷」の文字。住宅設備屋さんの一角で、ふわふわかき氷を夏限定で提供している。カウンターに座ってゆっくりとイトインがおすすめ。店内には手書きのメニュー表や、タロなどのオリジナル雑貨も。メニューはなんと34種類(200円～)。お母さんが香川県出身のことから、縁起物「おいり」もトッピングに並ぶ。あなた好みのかき氷がきっと見つかるはず。

まちを見守る野中のシンボル

⑫ 野中の巳さん 立森瑞神

淀川区木西4-3-7
拝観自由



住宅街の中にひっそりと佇む立森瑞神は、「野中の巳さん」と呼ばれている。大正時代、数人の村人が夢で大きな蛇に「私を祀ってくれれば、水不足にならない」と言われ、お祀りしたのが始まりのこと。境内には、大正5年(1916)に撮影された創建当時の写真が展示されている。神社裏手の宮原操車場を建設する際も、事故が頻発していたため、その原因といわれた狸を立森瑞神でお祀りし、無事完成したそうだ。

※料金はすべて税込みとなります。



憩いの道として蘇ったかつての川

② 大野川緑陰道路

西淀川区歌島2～百舌2

かつての中島大水道と大野川の跡にできた大野川緑陰道路は、全長約3.8km。自転車・歩行者専用道のため、安心してサイクリングや散歩が楽しめる。約100種類13万本の樹木が並び、四季折々の景色も楽しい。かつての川をイメージさせるような青い自転車専用コースが特に目を引き、健康に良さそうな足つぼのスペースなども。街なかでなかなか体験できない空間で、のんびりした時間を過ごしてみよう。※自転車に乗るときは、交通ルールを守り正しく乗りましょう。



江戸時代初期に築城し、明治の廃城令で取り壊された尼崎城が、尼崎市出身の家電量販店の創業者の寄付によって復元される。2019年春の一般公開を予定

西淀川区の出来島から東淀川区の赤川鉄橋までの、神崎川、淀川沿いを走る約21.6kmのサイクリングロード。休息できるベンチなどもあるので、サイクリングのついでに周辺の自然を散策してみよう

やり直したい人が勇気もらえる風の宮

③ 姫嶋神社

西淀川区姫島4-14-2 ☎06-6471-5230 拝観自由

決断と行動の神様として人々に親しまれている阿波留姫命(アカルヒメノミコト)を祀る、別名「やり直し神社」。やり直しの決意が込められた「ホタテの絵馬」が風に揺れ、涼やかな音が境内に響く。風を供える「献風台」には風車が並び、2年程前にリニューアルした参集殿は、真っ白で直線的なモダン建築。7月の夏祭りでは、地車3台の曳行と宮入、獅子舞や神楽奉納などが盛大に執り行われる。



魚も肉も欲張りしたい地元の名店

④ かつ膳

西淀川区姫島1-21-17アルテハイム姫島1F
☎06-6475-8466 11:30～14:00(13:30LO) 日曜休

マンションの1階に店を構えて15年、仲の良いご夫婦が切り盛りする地元の人気店。界隈のお年寄りからスーツ姿のビジネスマングループまで訪れる。サクサクモチモチのトンカツは一口サイズにカットされて食べやすく(800円～)、新鮮な魚料理は、煮付けや焼き物などメニューも多彩(1200円前後)。どのメニューもボリューム満点なのが嬉しい。現在はお昼営業のみのため、早めの来店がおすすめ。



伝承が息づく旧中津川ほとりの神社

⑤ 野里住吉神社

西淀川区野里1-15-12
☎06-6471-0277 拝観自由

野里住吉神社境内東側の石垣は、旧中津川の堤防の一部。永徳2年(1382)創建と伝えられ、人身御供の神事「一夜官女祭」(大阪府指定文化財)が伝承されている。「泣き村」と呼ばれるほど水害に悩まされた村人たちは、村を救うために毎年娘を神に捧げていた。ある年武者修行中の武士が身代わりとなって村を救ったことから、それを感謝して今でも毎年2月20日に一夜官女祭を行っている。華やかな行列は一見の価値ありだ。



おいしくつよくなる! グリコの歴史を知る

⑥ 江崎記念館

西淀川区歌島4-6-5 ☎06-6477-8257
10:00～16:00(最終入館15:30)
第1・3以外の土曜、1月、5月の第1土曜、日曜、祝日休、お盆と年末年始休
入館料無料 ※駐車場利用の場合は入館前に要連絡。

昭和6年(1931)、現在の場所に本社工場を新設したのが江崎グリコと西淀川区の関わりが始まり。当時、一帯は一面の田畑で、運河に「グリコ橋」も架けられていたという。館内では昭和40年改築当時のグリコ橋欄干も見ることができ。他にも歴代の道頓堀グリコの看板や、各時代のオマケのおもちゃ、歴代のCM映像などが展示され、見応えたっぷり。子どもたちの健康を向上させたいという想いと努力の歴史が感じられる。

今はない中津川の川幅を歩いて体感

⑦ 野里の渡し跡

西淀川区野里1-20-14

JR塚本駅の駅前商店街サンリバー柏里を抜けると、道路がほんのちょっと盛り上がる場所がある。かつての中津川の土手の名残りだ。ここから柏里小学校のグラウンド沿いを西に向かうと、突き当たりの辺に石碑がある。この200mほどは、大阪市内と尼崎を最短でつないで中世からにぎわった野里の渡し船があった場所。かつての川底探検をイメージしながら歩いてみると、中津川の川幅の大きさを体感することができる。



淀川越しに見る梅田の夜景は格別

⑧ 十三の渡し跡

淀川区新北野1丁目 淀川大橋の北西側
阪急各線・十三駅下車、南へ徒歩7分

大阪から西へ向かって中国街道を通る人々が、かつての中津川を船で越えるために利用した渡し場があった場所。乗り場は渡し船を待つ人でにぎわい、休憩するための茶屋などもあったと言われている。明治11年(1878)には十三橋ができたため渡し舟はなくなってしまった。現在は新淀川の堤防上に渡し跡の案内板が設置されており、梅田のビル群と淀川の川面に映るライトが煌々夜景を一望できる絶景スポットとなっている。

